



市議会だより



平成二十年 第三回 三豊市議会定例会

平成20年第3回三豊市議会定例会は、9月8日から24日までの17日間の日程で開かれました。

今定例会においては、三豊市新総合計画基本構想策定など、条例等13件を可決・承認。その他、平成20年度一般会計補正予算など、補正予算7件、議員提出規則の改正1件、意見書1件を可決しました。また、請願1件を採択しました。

なお、議長・監査委員を除く28名による決算特別委員会を設置し、委員長に眞鍋時敏議員、副委員長に鴨田 偕議員が決まりました。



第3回定例会

初日には、一般会計補正予算8億5,893万3千円を増額補正し、総額264億7,784万6千円の予算案など、議案の提案理由について説明がありました。

一般質問は、10日・11日・12日の3日間にわたり、議員18名が行いました。各議案の細部にわたる審査は、付託された各常任委員会で、17日に建設経済・教育民生常任委員会、18日に総務常任委員会の所管事項について行われました。

24日の最終日には、所管の委員会に付託していた審議結果について、各委員長から全議案原案承認の報告があり、20議案を委員長報告どおり可決・承認しました。意見書等については、次のとおりです。

補正し、総額264億7,784

意見書

万6千円の予算案など、議案の提案理由について説明がありました。

一般質問は、10日・11日・12日の3日間にわたり、議員18名が行いました。

各議案の細部にわたる審査は、付託された各常任委員会で、17日に建設経済・教育民生常任委員会、18日に総務常任委員会の所管事項について行われました。

24日の最終日には、所管の委員会に付託していた審議結果について、各委員長から全議案原案承認の報告があり、20議案を委員長報告どおり可決・承認しました。

意見書等については、次のとおりです。

森林・林業施設の更なる推進に向けて「国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める意見書」を可決しました。

山本保育所保護者会会長 大西隆文氏他205名より出された「山本保育所駐車場の混雑改善についての請願」は採択

なお、教育民生常任委員会として、「趣旨は十分理解出来るが、市内他の保育所・幼稚園の状況を調査の上、事業実施については十分配慮すること」といった意見が出されました。

議会日誌

9月

22日 議会運営委員会 全員協議会

24日 三豊総合病院組合議会

24日 定例会

30日 三豊市・観音寺市 学校組合議会

10月

1日 建設経済常任委員会 全員協議会

8日 議会広報委員会

10日 教育民生常任委員会

14日 建設経済常任委員会

15日 決算特別委員会

15日 防災対策調査特別委員会

15日 議会広報委員会

20日 全員協議会

20日 決算特別委員会

三豊市議会だよりの発行・編集は

三豊市議会・議会広報委員会

〒767-8585 三豊市高瀬町下勝間 2373 番地 73-3009

平成20年第3回三豊市議会定例会 審議結果

議案番号	案 件	付託委員会	議決の結果
議案第78号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について		原案可決(全会一致)
議案第79号～ 議案第91号	平成19年度三豊市一般会計、各特別会計及び事業会計決算認定について	決 算	継 続 審 査
議案第92号	専決処分の承認を求めることについて (三豊市税条例の一部を改正する条例)	教 育 民 生	原案承認(全会一致)
議案第93号	ふるさと三豊応援寄附条例の制定について	総 務	原案可決(全会一致)
議案第94号	三豊市税外収入金の督促手数料及び延滞金に関する条例の制定について	総 務	原案可決(全会一致)
議案第95号	三豊市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の制定について	総 務	原案可決(全会一致)
議案第96号	一般社団法人及び一般財団法人に関する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	総 務	原案可決(全会一致)
議案第97号	三豊市情報公開条例の一部改正について	総 務	原案可決(全会一致)
議案第98号	三豊市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	総 務	原案可決(全会一致)
議案第99号	三豊市税条例の一部改正について	教 育 民 生	原案可決(賛成多数)
議案第100号	三豊市立学校体育施設利用条例の一部改正について	教 育 民 生	原案可決(全会一致)
議案第101号	三豊市新総合計画基本構想の策定について	総 務	原案可決(賛成多数)
議案第102号	字の区域変更(白谷地区)について	建 設 経 済	原案可決(全会一致)
議案第103号	財田川防災組合の解散について	建 設 経 済	原案可決(全会一致)
議案第104号	財田川防災組合の解散に伴う財産処分について	建 設 経 済	原案可決(全会一致)
議案第105号	平成20年度三豊市一般会計補正予算(第2号)	総務・建設経済 教育民生(関係部分)	原案可決(賛成多数)
議案第106号	平成20年度三豊市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	教 育 民 生	原案可決(全会一致)
議案第107号	平成20年度三豊市国民健康保険診療事業特別会計補正予算(第1号)	教 育 民 生	原案可決(全会一致)
議案第108号	平成20年度三豊市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	教 育 民 生	原案可決(全会一致)
議案第109号	平成20年度三豊市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	教 育 民 生	原案可決(全会一致)
議案第110号	平成20年度三豊市介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)	教 育 民 生	原案可決(全会一致)
議案第111号	平成20年度三豊市集落排水事業特別会計補正予算(第1号)		原案可決(全会一致)
議案第112号	平成20年度三豊市水道事業会計補正予算(第1号)		原案可決(全会一致)
議案第113号	平成20年度三豊市病院事業会計補正予算(第1号)	教 育 民 生	原案可決(全会一致)
請 願 第 2 号	山本保育所駐車場の混雑改善についての請願について	教 育 民 生	採 択(全会一致)
議員提出議案第1号	三豊市議会会議規則の一部改正について		原案可決(全会一致)
意見書案第3号	国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める意見書について	建 設 経 済	原案可(全会一致)

議決年月日 議案第78号・111号・112号(平成20年9月8日) その他の議案(平成20年9月24日)
 議案第79号～議案第91号の平成19年度決算認定13議案に関しては、決算特別委員会に付託し継続審議となる

市政に対する一般質問

9月定例会の一般質問は、9月10日・11日・12日の3日間行わ

れ、市政全般にわたる諸問題について18人の議員が質問しました。

市議会だより

一般質問

コミュニティバス事業について

横山 強 議員

質問 現行12路線バス運行の内、21年度からどのように路線変更されるのかを伺う。

答弁 市が一種の定着した形で持っていないことも現状である中で、路線の設定としてはまだ変更があり得る。

質問 乗車率の低い路線は、今後の施策で、継続・見直しを図られるのかを伺う。

答弁 利用者の少ない路線は、変更や廃止を検討する必要がある。路線の運行経費に対する運行収入の割合が12%を下れば廃止も含め見直しを行う。また、乗り継ぎ場所が変わる可能性もある。バスを始めたスタンスとして、必要がなければやめざるを得ない。

質問 利用率の高い停留所から、バス待合所施設を設置してはどうか。

答弁 施設をつくるには平等の精神を忘れず、設置については基準と費用対効果、そしてはつきりとした理由を持つた後で行動せざるを得ない。

他県で職務強要事案が発生している、三豊市の実態は

十鳥 彰 議員

質問 三豊市で、職務強要事案が発生した事はあるのか。

答弁 全国的に反社会的団体が不正な利益を得るために、行政機関や職員に対して強要が発生しているのはご指摘のとおりです。三豊市は今までには発生したとの報告を受けておりませんが、水面下におきましては、それに近い事案は起きていると思われま

質問 事案が発生した場合はどのように対処するのか。

答弁 公正な行政執行するため、毅然とした態度で不当な要求を排除し、組織内部での自浄作用の強化が市民から信頼される行政の基本です。

本市では、合併と同時に不当要求行為等防止対策要綱及び対応マニュアルを作成し、あらゆる不当要求や暴力的不当行為に対し、統一的な対処方針を定める等、組織的に適切な対応を行い、市民及び職員的安全と事業の円滑かつ適正な執行に努めてまいります。

保健・医療・福祉の連携について

川崎秀男 議員

質問 保健・医療・福祉の主たる業務について伺い、保健・医療・福祉が連携した地域包括ケアシステムづくりをどう進めるのか。

答弁 今日、超少子高齢化社会の到来が言われており、高齢化は、私たちが望み、目指してきたことの実現でありま

す。人生八十年の時代、平均寿命以下をヤングシルバーと呼びし、時代の変革の旗手として、活躍していただけることを訴えております。

保健・医療・福祉の連携による地域包括ケアシステムは、時代の流れだと思っております。現在担当課で検討しているところで

元気で・明るく・楽しく・社会に役立ち、長生き出来る高齢化社会を目指して、改革・改善を進めてまいりますので、ご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

学童保育の旧町格差是正に向けて今後の考え方は

大平敏弘 議員

質問 2年程前、市の方針は公設民営（豊中方式）を打ち出したが、公設公営・人権センターの取り組み・準公設民営・公設民営の4種類のシステムの現状のまま。格差是正の考えは。

答弁 来年度統一化へ格差是正に向けガイドラインを策定し、指導員の配置・保育料・開設日数・運営時間など、来年度統一化に向け進めたい。

火葬場構想について

質問 火葬場建設構想のビジョンをお聞かせください。

答弁 市内にある火葬場は、昭和52年豊中火葬場・山本財田斎場の2施設、昭和57年七宝斎苑、平成12年高瀬火葬場が建設され、古い施設は30年以上が経過

新たな火葬場は、整備の基本方針・施設の規模・能力・建設場所の選定など検討に入りたい。

過疎地域等における集落支援対策の推進について

山本 明 議員

質問 過疎地域等における集落支援対策について伺う。

答弁 総務省が平成20年8月1日付で「過疎地域等における集落対策の推進について」という通知を出し、過疎地域等の集落対策についての取り組みを打ち出しました。その目的は集落の住民が集落の問題を自らの課題としてとらえ、住民と行政のパートナーシップを形成し、集落対策に取り組むこととあります。本市においても、地域内分権のシステム作りと併せて、受け皿となる地域の点検等を十分やりたい。本市の中で島しょ部・半島部・山間地域で、いわゆる限界集落というような状況に至っている集落があることは事実であり、集落点検の点検表というの、過疎問題懇談会のほうから提言されており、自治会長さん等を通じてモデル的に事業をやってみることは、早い段階で取り組めようと思えます。

次世代育成支援行動計画の見直しについて

藤田公正 議員

質問 本市の次世代育成支援行動計画の見直しについて、特に少子化対策について昨年12月議会で指摘したがその準備は進んでいるか。

答弁 本年度は、ニーズ調査や現行計画の点検・評価に向けた準備作業をスタートし、役所内各分野にまたがることから体制を整備し関係部局が連携し横断的に取り組む考え。**質問** 20～30年後のことで人口の減少が経済にどのように影響するのか把握しなければならぬ。我々の生活、特に年金問題、医療問題、産業基盤や社会福祉施設などのほか、生活関連の社会資本の維持や継続が出来なくなる。社協などいろいろな団体が少子化問題を理解し、危機感を持って取り組んでほしい。**答弁** 国家的な制度の在り方もあるが、地域においては子どもを産み育てることの魅力感をみつけ、関係部局で議論を深めて計画に反映したい。

雨水貯留施設設置補助金交付制度の創設について

小林照武 議員

質問 四国で一番水道水使用量の少ないのは愛媛県、とりわけ松山市であり、古くから節水機器へ対する補助金制度が設けられており、その利用率についても市民の4割以上だと言われている。水資源の乏しい三豊市でも、先進地に見習って雨水の再利用を含めた水の有効利用対策を講じるべきであり、標記制度を設けるべきだと思いが如何か。

答弁 四国では、高松市の雨水タンク設置補助事業、不要となつた浄化槽の雨水貯留槽への転用助成とか、松山市の雨水貯留施設購入促進事業、節水型機器の購入促進事業などへの補助金交付制度がある。雨水利用制度の創設については、三豊市にとっても大変有効な制度と考えるので、今後へ向けても調査研究を行っていきたいと思う。他、小学校で急増し始めた暴力行為と、掲示板類の適正管理について質問した。

豊中に集中する大型店舗開業の周辺対策について市の対応

金丸 勉 議員

質問 ゆめタウン含め5店舗が開店する周辺の混雑・交通・環境・騒音・防犯等の対策と、三豊市の商店支援策はどの様に対応するのか、市の考えは。

答弁 商工会と連携を図り21年度より商品券発行を実施し、購買の地元定着を実現する。ゆめタウン三豊地域貢献協議会を設置し、必要に応じて協議会を開催する。**質問** 豊中庁舎跡地整備検討委員会について、予算・手法を伺う。**答弁** 委員会構成は、各公民館長・愛育会・PTA・老人会の10名で検討する。委員会では、何を建設するのではなく、何をするか、ソフト事業等の検討結果を踏まえて、整備の方針を取りまとめ、議会と協議していく。

職員の昇任・管理職への登用等の基準について

藤田芳広 議員

質問 職員の昇任登用は、行政需要の多様化に併せ資質向上が強く求められているが、年功序列的な昇格制度ではなく、昨年導入の人事考課制度は反映されているのか。また、女性管理職の登用はどの様に考えるのか。

答弁 現在、基準というものは無いが、人事考課の結果を最も有効な資料とし活用している。女性の管理職への登用は、男性と同じくやる気のある者を発掘していく方針。**質問** 文化財の保護対策については、個人所有では物件の維持管理が困難であるが、助成制度は考えられないか。三豊市に23本ある保存木も、その管理に支障をきたすものもあり、実態の把握は出来ているのか。**答弁** 各々所有者が原則維持管理すべきものとなっているが、まず現時点の調査を行うことから順次計画的に対応を検討し、その保護に努めていく。

地域内分権、経済財政基盤確立の戦略的政策について

詫間政司 議員

質問 総合計画では、地域内分権が明記され、市民・市民組織・民間企業・行政がこれ

までの役割を見直し、地域内分権によって新しい役割の共通認識を持つ必要があるとしている。システム確立までの具体的手法を問う。

答弁 役割分担の基本的な考え方、市民提案の酌み上げ方権限と責任の関係、財源負担の問題について、『三豊市地域内分権システム』として、平成21年度に取りまとめる。

質問 総合計画では、まちづくりの最重要点として、経済財政基盤確立を上げている。

企業誘致と合わせ地元中小企業の創業・育成が重要だ。中小企業基本法にも地方公共団体の責務を定めている。経済財政基盤確立の手法を問う。

答弁 若者が安心して働ける環境整備と関連施策を進める。総合的産業振興ビジョンを持ち、本市の特性を踏まえた総合的経済施策の検討を進める。

詫間港の現況と更なる活用について

多田 治 議員

質問 三豊市の大きな財産である詫間港の港湾施設の利用状況と、大幅に減少している利用者確保をどう行っているのか尋ねる。

答弁 近年鉄鋼部門等について変化は無いが、木材部門についてはピーク時(平成4年)の原木輸入量51万6千トンに

対し、平成20年は最終約5万トンになる見込み。水面貯木場の利用率は平成14年より21%強になっている。施設の利用者確保は、港湾荷受業者・コンテナ推進協議会等、連絡をとりながら確保に努めている。

質問 現行施設での利用者確保が困難であれば、PFI導入等で施設そのものの見直しが必要でないか。

答弁 厳しい経済情勢の一方、国際化をはじめ時代は大きく変化している。今後の詫間港の一層の活性化のため、関係企業・香川県・有識者・関係機関及び議会、そして三豊市等で協議会を設置する。

コミュニティバス事業と企業の連携について

近藤賢司 議員

質問 時刻表の見直しについて、通勤通学時間帯の増便と最終便の時間見直しは考えられないか。

答弁 通勤通学時間帯の増便は、利用の多い仁尾線は、市民の篤志家から寄付でバスを大型化することで既に対応した。最終便の時間は、総合的な判断の中で考えていきたい。

質問 近隣の市・町・三豊総合病院への直接のアクセスは検討されないか。

答弁 観音寺市・まんのう町・善通寺市と検討し、問題点や相手方の都合もあり、十分なものにはなっていない。

質問 工業団地への乗り入れは、検討出来ないか。

答弁 新たな声として参考にさせていただきます。

質問 (仮称)三豊市名誉賞表彰について。

答弁 市長感謝状を授与する方向で実施を考えている。早い時期に各部と協議検討し、実施に向けての努力をする。

税金の徴収は納税者の立場に立ち制度の市民周知を

岩田秀樹 議員

質問 市の国保税減免規定に病氣・リストラなどによる失業、事業廃止などによる対応はありません。災害、事故、病氣、業績などの悪化に起因して、納付困難になった場合

滞納に至った経過を納税者の立場で聞き、納税猶予の「取り扱い規定」(国税庁通達)を反映すべきではないか。

答弁 市の条例の上位法(法律など)に対する条項が、市の条例にない場合でも、上位法の規定が準用されます。

質問 雇用能力開発機構が所有する雇用促進住宅200戸の廃止計画が出されています。

入居者への説明もないが、市はどう対応するのか。

答弁 平成17年に閣議決定し、15年で雇用促進住宅を譲渡・廃止する方針を決定。当市にも譲渡に関しての打診がきて

います。入居者で、希望者は市営住宅募集時に申し込んでいただければと考えています。

三豊市道路計画策定について

近藤久志 議員

質問 道路計画の策定に当たり、市道認定路線の見直し業務の進捗状況と見直し期限は

答弁 2,485路線、延長1,045キロの市道があります。4メートル以下という基準での見直しは行わず、利用度が著しく低く、必要度の極めて少ない道路について、支

所事業課長との検討会による見直しを行い、議会承認が必要となるので、現地調査も受け合意のもとで今年度末に完了したいと考えています。

質問 用地の寄附行為を強要していないか。

答弁 現在市道で、基準に満たない改修、部分的な拡幅の場合、地元からの強い要望であれば、基本的には用地を無償でお願ひしています。

質問 住民の要望を受けた、格差のない道路計画を。

答弁 改良計画、事業実施に当たっては、維持管理も含め十分精査し、地元の負託に答えられるよう努めます。

西野遊水池の
環境整備について

眞鍋時敏 議員

質問 西野遊水池は公有水面即ち海であるが、現在葦が生い茂り遊水池の水の流れが悪く悪臭を放ち、景観を阻害し機能を十分に果たせない状況です。管理は香川県の責任ですが、市としていかに対処されるつもりかお尋ねします。

答弁 この周辺は、旧詫間町でも住宅密集地であり、若者にも好まれ、若年人口の定着が進んでいる地域です。近年遊水池には葦が生い茂り、生活環境に不快感を与えている現状はご指摘の通りであります。市としては、昨年は県において刈り払いを行いました。が、本年は浚渫（よどみ）をお願いしており、実施頂けるものと考えております。

質問 西野遊水池と同一水面で管理されている大新田地区の浸水防除については。
答弁 大新田地区の改良につきましてはは土地改良事業となると考えられるので、県の土地改良事務所と協議致します。

財政調整基金、合併特例債、元職員の懲戒免職について

鴨田 偕 議員

質問 合併効果と行政の効率化で財政調整基金は約54億円貯まったが、全国類似団体の平均は約26億円である。余分の基金はどのように使うのか市長に伺う。

答弁 新総合計画が策定されまちづくり事業が実施される中で、財源不足が生じた中で不足を補うと共に、市民に還元し福祉向上に使いたい。

質問 残されている約400億円の合併特例債の利用期限は約7年3カ月足らずとなったが、市民の為に有効に利用すべきではないか。

答弁 合併特例債が必要な事業に運用し、新しい三豊市のまちづくりを推進したい。

質問 8月12日に嫌疑不十分で元職員が不起訴処分となったが、三豊市はどう受け止めており、今後どのように対応するのか、市長に伺う。

答弁 県の人事委員会において審議中であり、しばらく推移を見守るべきである。

市民に自助自立の計画が、非正規職員の処遇改善を

三木秀樹 議員

質問 三豊市総合計画の中核をなす地域内分権とは何か。

その計画の審議会で「市の職員を削減するために、市民に負担させ、市民サービスを維持する事」との見解だが、行政に頼らないで、市民の自助自立を基本とする事なのか。

答弁 公的な事は何でも行政がする時代は終わったのです。公的活動に、増え続けるヤングシルバーが受け皿になって

参加し、やりがい・生きがいが生まれると期待しています。

質問 プロである市職員を減らし、ヤングシルバーに期待する三豊市の十年後、それ以後の我が市はどうなるのか。

答弁 ご心配なく、十分やっていけます。

質問 非正規職員への処遇改善の遅れは社会問題化している。通勤費の支給も含めて改善が必要ではないのか。

答弁 諸般を考慮して判断するが、通勤費は前向きに検討するが、「有料駐車問題」等を質問

急がれる学童保育の運営基準（ガイドライン）づくり

瀧本文子 議員

質問 市内18カ所ある学童保育は運営状況がバラバラで、子供達の生活は決して良好とは言えず、公・民営ともレベルアップが必要。働く親たちが安心して預けられ、子供達に落ち着いた生活を保障するため、保育料や指導員の雇用形態の統一など、ガツツリした運営形態の確立が必要。以下要望。市の学童保育の運営基準（ガイドライン）の作成

保育料の負担減。指導員の待遇安定等のため市独自の補助制度の確立。特に民営の指導員の雇用や運営事務の父母負担の軽減に向けた方策

公・民営共に「最終責任」は三豊市にあることの明確化。

答弁 運営基準（ガイドライン）づくりは速やかに取り組む。保育料のあり方を含め補助金制度を検討する。委託基準の見直しの中で方向性を示す。公設公営はもとより、それ以外についても最終責任は三豊市にある。

本会議の傍聴を
しませんか

本会議は年4回、3月・6月・9月・12月に行われます。議員や行政がどのような考えで、どのようなことを行っているのか、知っていただくためにも、本会議の傍聴をしませんか。

本会議当日、高瀬庁舎4階議会事務局にて、傍聴受付の手続きを行えば、どなたでも傍聴出来ます。お気軽にお越しください。

尚、代表質問（3月のみ）、一般質問については、生中継を行っておりますので、インターネットや市内各支所でもご覧いただけます。

「議会中継を見たいときは」三豊市議会ホームページを開く

「本会議中継」をクリック
「議会中継はこちら」の「議会中継」をクリック
中継中は画像が映ります
つながりにくい場合は、しばらくしてから再度アクセスしてください。

委員会の動き

総務常任委員会

9月18日開催の総務常任委員会には、8議案が付託され、その主な質疑・答弁の内容は次のとおり。

問 ふるさと三豊応援寄附条例 都市の納税者から、田舎への寄附が多いことが想定されるが、どのように寄附者を募るのか。

答 ホームページや県外の県人会等で呼びかけた。

問 三豊市情報公開条例の一部改正 改正の趣旨は、情報公開へ向けて、より強力的に出来るのか。

答 現在よりレベルアップするものである。

問 一般会計補正予算関係部分 財務諸表作成業務委託料の委託方法は。

答 専門的な要素が強いため、公認会計士のいる事務所へ委託し、正確なものを作成するため。また、方式は、総務省方式で。

問 市歌の委託の方法、完成時期は。

答 作詞は公募などを検討している。CDの作成も含んでの計上。時期は年度末を目標。臨時職員の特別徴収の委

託料とは。

答 市内事業所に市県民税の特別徴収を推進するため、まず、市が模範を示さなければならぬためのシステム関係の費用である。

問 市道六の坪5号線関係工事の補正が計上されているが、今補正で対応出来るのか。

答 流用で対応。(次回からは事前協議する)傍聴者2名

建設経済常任委員会

9月17日開催の建設経済常任委員会には、4議案と陳情1件が付託された。議案第102号「字の区画変更(白谷地区)について」は原案のとおり可決した。議案第103号「財田川防災組合の解散について」及び議案第104号「財田川防災組合の解散に伴う財産処分について」の質疑に対し、新たに設置される協議会の三豊市選出委員の構成については、協議会の規約が決定した後となるので現在未定との答弁があり、原案のとおり可決した。議案第105号「平成20年度三豊市一般会計補正予算(第2号)」中の関係部分については、農業委員会費の業務委託料・農地費の修繕

料・建設工事関連委託料及び道路橋梁維持費の手数料の質疑に対し、耕作放棄地調査では判別出来ない農地は、来年度現地調査をする。危険遊具撤去後の新設については、利用頻度の多い所は今後十分検討する。農道については、幅員4メートルを予定し用地は全て地元提供であり、公共性が高く地元負担はなし。地図訂正は5カ所程度であり、他に文筆図作成も計上しているとの答弁があり、原案のとおり可決した。その他「国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める意見書(案)」「採択の再要請について、全委員賛成で採択し、意見書(案)の提出を決定した。

教育民生常任委員会

9月17日開催の教育民生常任委員会には、10議案と請願1件が付託された。税条例の一部改正の主なものとしては、「公的年金に係る住民税を年金から天引きするというのが、年金以外の所得についてはどうか」との質問に「年金以外の所得に税がかかる方が申告の際、税を現金で支払う旨の

申し出がない場合は、年金から天引き出来るが、国の方針で当面の間運用しない」との答弁があった。次に、補正予算の主なものとして、「一人親家庭子育て支援事業は、市単独事業か。その内容は」との質問に「市単独であり、一人親家庭の方がファミリーサポートセンター事業を利用した場合、月25時間を上限とし、1時間700円の内400円を補助するものである」との答弁があった。次に「豊中学校の施設改修は、ゆめタウン進出に伴うものだが、市の予算を充てるのか。ゆめタウン側と協議したのか」との質問に「学校内部の施設であり、市の予算を充てた。今後地域審議会等で協議していく」との答弁があった。次に「学校の施設の修繕について、どの様にしているのか」との質問に「当初予算の段階で要望があがってくる。修繕についてはその都度対応している。今回、施設担当職員が現場を見て、修繕に対応する体制が出来た」との答弁があった。

以上、各議案とも慎重な審議により原案どおり可決・承認した。